

令和3年度 普天間小学校の取り組み

1 研究主題名

コミュニケーション能力を育む指導の工夫

～伝え合おうとする積極的な態度を喚起する活動の実践を通して～

2 研究主題設定の理由

本市では、小学校英語教育課程特例校事業として、「児童生徒の生きる力の育成及び国際化の時代に必要外国人との実践的コミュニケーション能力の基礎を育むこと」を目的とし、各小学校において英語教育を実施している。本校では、HRTとALTやJTEとのティームティーチングによる指導を行い、児童も英語の時間を楽しみにしており、意欲的に参加している。

授業では発達段階の応じた語彙の獲得や挨拶、簡単な日常会話のスキル、歌やゲームなどを通じた楽しい英語に加え、学校行事や他教科と関連させたクロスカリキュラム的な方法で外国語への興味関心を高めてきた。しかし、このような活動だけでは与えられた形式をただ声に出しているだけで、思考力をあまり働かせなくてもできてしまう。そこで、児童が潜在的に持っている「友達と気持ちを伝え合いたい」という積極的な態度を喚起する授業の工夫を行えば、学びの質が向上しコミュニケーション能力の素地の育成につながるだろうと考える。さらに、伝え合おうとする積極的な態度を喚起する言語活動の充実を図り、相互交流のあるやりとりを工夫することで、児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地や基礎を育成する。

そこで、本年度は様々な指導法や体験的な活動を通しての言語の習得を行いながら、英語に親しみ身近な日常会話の場の設定ややりとりの工夫を行っていく。本校では、CAN-DOシートを活用しゴールを見据えたプランニング(バックワードデザイン)を作成している。授業計画の段階からHRTとALTやJTEが連携して単元ゴールを設定しスモールステップで小単元のゴールを設定しコミュニケーション能力の素地の育成を目指している。また、授業内だけでなく休み時間や給食時間、クラブ活動等においてもALTやJTEとの関わりを通して日常的に英会話を楽しむ児童を育てていきたい。本年度もこれまでの成果をベースにして、積極的にコミュニケーションを図り、伝え合おうとする積極的な態度喚起する活動の実践を目指していきたい。

3 研究の主な内容

(1) 目標

【低学年】

◎英語に触れる。

- ・歌・リズム遊び・ゲームなどの活動を通して、英語のリズムやイントネーションを体で感じとり、楽しく英語に触れる。
- ・英語をよく聞き、進んで発話する。

- ・行事やイベントを通して、外国と日本との文化の違いに気づき、外国のことに興味や関心を持つ。

【中学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

②話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

③話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする

【高学年】

◎基礎・基本の習得活用を図る。

①聞くこと

- ・簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

②読むこと

- ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

③話すこと〔やり取り〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

④話すこと〔発表〕

- ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

⑤書くこと

- ・大・小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

(2) 指導方針・方法

- 毎週木曜日に英語ミーティングの時間を設け、事前に英語の授業の流れを担当と ALT で確認し、授業がスムーズに行えるようにする。
- 各学年の英語担当を中心に、ALT と授業の流れや、各学年の発達段階に合わせた、語彙やターゲットセンテンスを確認する。
- 放送委員と連携し、登下校時の校内放送や、運動会などの学校行事に英語を取り入れる。
- 半年ずつ ALT が担当学年を交換して指導を行うことで、児童が色々な英語に触れることができるようにする。
- 日常的に外国語に慣れ親しむことができるように、学校全体の掲示物の工夫を図る。

4 本年度の取り組み

各学年の取り組み

1年

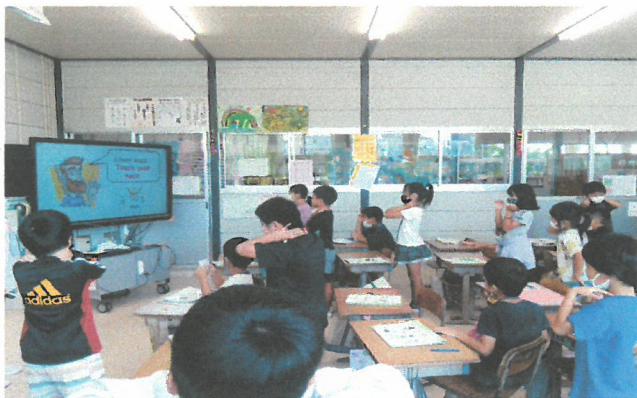


視聴覚教材を見てダンスを真似しながら、動物の名前を練習している様子。

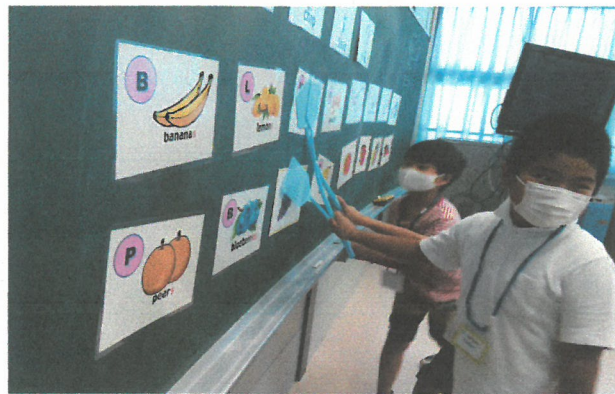


曜日の単語を練習した後 ALT の発音をよく聞いて正しいカードを選ぶカードゲームをしている様子。

2年



Simon says ○○というキーワードを聴き取り指示に従って動いている様子。



果物の名前を ALT が英語で I like ○○と伝え、そのカードを早解きクイズで当てるゲームの様子。

3年



冬に関する新出単語を覚えるためにゲームを取り入れ繰り返し練習している様子。



「What's this?」を使ってグループでインタビューゲームをしている様子。

4年



ハロウィーンにちなんで、英語で椅子取りゲームをしている様子。



ICTを活用し、グループで発表している。

5年



単元最後の活動でオンラインによる交流を実施し、お勤めの都道府県を紹介する様子。



学習した内容を使って対話の充実を図り英語の定着を図っている。

6年



授業の中でタブレットを活用して、語順の確認やスペルチェックを行う。



発表の前に、ペアやグループでの発表練習をし、スピーチに慣れる。

December 7th, 2021

English Plan 5th Grader

1. Topic: Lesson 6: Where do you want to go?

2. Goal: to actively make a recommendation to ALT family about Japan.

3. Target Language : Hello, My name is ~. I want to go to Kagoshima.

You can see yaku sugi tree. You can eat kurobuta. Please visit Kagoshima. Thank you! Nice recommendation.

	活動	ALT	HRT	Remarks
Warming up(5)	雰囲気作り・動機付け 1. warm up greetings 2. Review	1. *Greetings *RULES* Weather/Day/Date/Time Phonics Alphabet Phonics Chants 2. 前時の復習 Introduce the prefectures and what to do in each prefectures. (You can see/eat/enjoy/buy)		USB Flashcard
Activity(30)	めあて達成の活動 3. Small Talk ↓ (デモンストレーション) 4. Today's Aim 5. Activity 1 (Sub Activity) Introducing and Practicing New Words & Phrases 6. Activity 2 (Main Activity) コミュニケーション 自己表現活動	3. Small talk ALT: Hello, My name is ~. I want to go to Kagoshima. You can see yaku sugi tree. You can eat kurobuta. You can enjoy onsen. (buy). Please visit Kagoshima. Nice recommendation. 4. めあて: ハゼ先生家族に日本のことをおすすめしよう 5. ① Let the students guess which prefecture belongs those activities by showing the flashcards ② ALT will introduce her recommendation ③ JTE will practice the target sentences with the students. 6. ① Demonstration of ALT as speaker and JTE as listener. ② Make your own recommendation ③ Listen to you friends' recommendation and fill out the worksheet what you found out. ④ Using Zoom student will do the recommendation to Hazel Sensei's family from the Philippines		Tablet Worksheet
Conclusion(10)	めあてと正対したまとめ 7 Wrap-Up まとめ・振り返り 8 Closing the Class	7. Please do the wrap up. ① Please open your file and let's write today's comment. ② Any comments? 8. Class leader lets finish. ALT/HRT: 1,2 Thank you very much see you next time goodbye. See you rock, scissors, paper 1,2,3!		

5 研究の成果と課題

(1) 成果

低学年

- ・英語ミーティングを確実に行うことで、授業内容を共通理解でき、授業がスムーズに行えた。これにより、子どもたちも見通しを持ちながら学習に前向きに取り組むことができた。フォニックス導入時に、歌でアルファベットの音を確認しながら書くことで、文字に興味を持つことができた。【1年】
- ・インタビューゲームやカードゲーム、ダンスなどのアクティビティを通して、楽しみながら意欲的に英語の学習ができた。【1・2年】
- ・ジェスチャーを用いながら学習することで、体全体を活用しながら英語の単語の定着が自然とできた。【2年】

中学年

- ・指導案を使ってALTと毎週ミーティングを行うことでしっかり授業準備を行うことができた。【3・4年】
- ・フォニックスの計画的な取り組みを行うことで日本語と英語の発音の違いや読み方の違いに気づき発音を意識してまねたり、読んだりできてきている。音を聞いて英語の頭文字を当てたり、イニシャルを書いたりできるようになってきている。【3年】

高学年

- ・担任とALTのスマールトークから単元のめあてや本時のめあてを考えさせることで、英語を聞き取り子ども達も意欲的に学習に取り組む姿勢ができた。フォニックスを実施する際に、教師と子どもたちと交互に進め1週間に2回行うことで、アルファベットの発音や単語の定着が自然とできた。【5年】
- ・どの単元もワークシートの形式が同じで、授業の流れが統一していることで、児童が見通しを持って、活動をスムーズに行うことができた。【5年・6年】
- ・単元の最後のスピーチテストに向けて、ペアやグループなど様々な場面で発表を聞き合う活動を取り入れることで、スピーチに慣れることができた。タブレットの機能を活用し、センテンスの語順の確認やスペルのチェックなどを楽しく行うことができ、中学校の英語の授業に繋げることができた。【6年】

(2) 課題と解決策

課題	解決策
●センテンスの定着に個人差があり、相手とのコミュニケーションの場で質問したり答えたりすることができない児童がいた。(1年)	☆センテンスに触れる時間を多く設けるようにする。 ☆同じセンテンスを繰り返し行うことで定着につなげていく。(1年)
●英語に苦手意識を感じている子がおり、活動に積極的ではない児童がいる。(2年)	☆歌やダンス、ジェスチャーを教師や周りの児童が楽しんでいる様子を通して、興味や関心を改めてもち、活動に楽しんで参加できるようにする。(2年)
●振り返りの内容に個人差があり、活動内容ではなくゲームなどの楽しかったことなどを書いてしまう児童がいる。(3・4年)	☆振り返りに視点を持たせ、本時のめあてに戻して必要な活動の振り返りが出来るように細かく活動について質問するなど本時の学びを焦点化させるようにする。(3・4年)
●高学年となると限られた児童のみ意欲的に発表する姿が見られる。また、語彙力に差がある。(5年)	☆ペアでの活動を多く取り入れ、自信を持たせる。フォニックスを通して、語彙を楽しく増やせるようにタブレットの活用にも努める。(5年)
●発表の意欲だけではなく、知っている英語の語彙数や、覚えているフレーズなど、児童の個人差が大きい。(6年)	☆ペアやグループでの発表の場を増やし、自信を持って発表できるようにする。既習事項の復習を設定し家庭学習との連携を図る。(6年)